

食の小田原

コーディネーター：特定非営利活動法人子どもと生活文化協会（CLCA）

取組の背景

小田原市は温暖な気候と豊かな水資源を生かした農業が豊かに展開されてきた地域です。

健康志向や食材の安全性に対する意識が高まるなか、市民に安全な食材を提供するとともに、地元で生産されたものを地元で消費する地産地消や、農業体験等による食育を推進することで、小田原の食に関する豊かな資源を地域の活性化につなげることが必要であると考えます。

活動の狙い

近年の農業や教育における諸課題について、「食」を通じて改善策を見出すための活動を関係団体が連携して展開し、「食」による地域の人たちのつながりの回復を図ること、また、安全な食品による市民・子どもたちの健康の実現を目指しています。

実施内容

安心安全な小田原の食材と、そこに関わる生産者や消費者の交流が生まれるファーマーズマーケットの開催、土に触れ、作物を育て収穫した野菜を食べることで子どもたちに新しい発見と学びを提供する親子菜園の実施、市内の小学校で実施される農業体験学習を映像として記録し紹介する取組などを進めました。

活動の成果

地域で活動する様々な市民の間にネットワークができ、それぞれの活動や事業展開につなげていくことができました。

また、民間団体が主体となることで、学校や地域の方の生の声を事業に生かすことができ、水稻栽培体験学習を実施した小学校では、地元農家と一緒に稲刈りや収穫したお米を試食するなど、地域での新たな交流が生まれました。

さらに、市内の学校農園等の取材し、映像化したり、親子で農業体験ができるモデル園をつくるなど、民間ならではのアイデアにより幅広い活動が実施されました。

今後の展望

これまで展開してきた活動とネットワークをもとに、さらに小中学校と連携した活動を模索するとともに、新たに地産地消や6次産業化による経済発展、食農教育の推進、地域文化の振興といった視点から新たなファーマーズマーケットのモデル作りに取り組んでいきます。

参考URL

<http://www.clca.jp/link/archive/index.html>





取組の経過

平成21年12月

「未来の食卓」上映会

フランスの小さな村で学校給食をオーガニックに変えていく取組みを記録した映画の上映会と、市長も参加してのシンポジウムを開催しました。会場ロビーでは有機野菜等の販売や小学校の学校農園のパネル展示も。これが食の小田原の事実上のキックオフイベントとなりました。



「食」を語り合ったシンポジウム

平成22年11月

まるしえきんじろう開催

プロジェクトの趣旨に賛同された農業生産者などが30軒ほどが出店する交流市場を開催しました。

無農薬・低農薬の野菜や、地ビール、パン、お菓子、お米自然食品、木工製品などを展示し、手作りの良さを実感してもらい、質のよい健康な暮らしを提案しました。



多くの店が立ち並んだまるしえきんじろう



農・食の交流を生んだ店内

平成24年9月

Yes! Garden開設

子どもや保護者の食育活動の拠点として食育学習菜園を開設しました。

現在、この場所を拠点として、子どもと大人が一緒に、農と食を体験し、自然の恵みや自分と自然との結びつきを学ぶことができる食育菜園教室を開催しています。



久野に開設された「Yes! Garden」



「Yes! Garden」オープニングイベント